

第11回

- 講演者：一瀬 孝氏（金沢大学）
 - 題目 Three Magnetic Relativistic Schrödinger Operators and Imaginary-time Path Integrals (3つのシュレーディンガー作用素と虚数時間経路積分)
 - 日時：平成23年11月4日（金）16：30～17：30

古典的なスカラー・ベクトルポテンシャルをもつ相対論的ハミルトニアン表象 $\psi^\dagger (\gamma_0 \partial_t - \gamma_i \partial_i - A(x) \gamma_0 - m \gamma_5 + V(x)) \psi$ に対する3つの相対論的シュレーディンガー作用素を考える。まず、この3つが定数磁場のときには一致するが、一般には相異なり、またゲージ変換に対して共変かどうかについて述べる。次に、この3つの作用素に対する虚数時間シュレーディンガー方程式、即ち、熱方程式、の解に対する経路積分表示に関するサーベイを行う。表示は、右連続、左極限を持つ不連続経路達の空間上のレヴィー過程が関わる。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

31 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2011/011>

Last update: **2017/11/17 00:52**

